

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成23年11月15日 午後 1時28分 開会 午後 3時14分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 土橋秀雄 三澤龍夫 片野哲生 高橋富美子 鈴木京子 高橋英俊 吉川重雄 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 鈴木首席理事 二挺木理事 依田教育長 相田理事 森田政策課長 岩本総務課長 齋藤副主幹 加藤財政課長 曾根田主任主事
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 山口 芳弘
6 協議等の事項	(1) 平成24年度議会費予算について (2) 議会基本条例の進行管理について(通年議会・議会報告会・一般会議など) (3) その他
7 その他	一般傍聴なし

(1) あいさつ：町長欠席のため鈴木首席理事あいさつ

町立小磯幼稚園の民間幼稚園の認可について、10月24日に神奈川県私立学校審議会で審議され、設置が認可された。平成24年4月開園に向けて学校法人小磯学園が手続を進めていく。

町からの報告事項としてこの12月議会に提出予定の補正予算の概要について説明するのでよろしくお願ひしたい。

(2) 町報告事項

- ① 平成23年度大磯町一般会計及び特別会計補正予算の概要について・・・資料に基づき財政課長から説明があった。

◎主な質疑

問．シルバー人材センター事業運転資金貸付金は、シルバー人材センターに対しどうするのか分からない。何のために貸すのか。

答．シルバー人材センターに運転資金の貸付をし、運転資金が落ち着いた時点（年度末）で貸付元金を返済してもらうということである。

シルバー人材センターとして9月から法人化されたが、法人化に経費を要したため、蓄え不足となることから要望があった。

問．年度の途中で貸しつけるということは、12年以上の経験で一度もなかった。理由を説明してもらいたい。

答．23年度は生きがい事業団に補助金を出していない。9月に法人化して運転資金の関係で銀行からの借入れという手段もあるが、他の自治体の例も参考として行政が無利子で貸付けることとした。11月は仕事が一番多い時期であるが、発注元からの収入と賃金支払いの時期的ズレが生じ、賃金が支払えなくなるため、つなぎ資金としてこの制度を利用してもらうことになった。補助金については、24年度に計上していく予定である。

問．法人化しており、事務をきちっとすべきである。町が無利子で貸し付けるのはおかしい。会計処理がおかしいということで、平成23年度は補助金を出していない。他の自治体が行っているから行うということではなく、法人内容をきちっと精査すべきである。現在、事務所の場所も無償で貸しており、他に対しても行っているのか。法人格を取得した法人の経営としては失格である。それをどう考えているのか。

答．23年度の4月の時点では生きがい事業団で余剰金もあった。しかし、23年度の年度途中での補助金交付ができないため、賃金支払いのためのつなぎ資金として、9月に法人化したので制度をつくり貸すこととなった。

問. 現状の貸付金要綱でやれるのか。

答. 新たに貸付金要綱をつくってやっていく。

問. 子ども育成課の教育費寄附金、中学校寄附金とは何か。

答. 町在住の平塚で事業している方からの寄附で、昨年もいただいている。
中学校の楽器購入費に充てる。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 主な報告事項

① 委員長等からの報告

○11月15日 議会運営委員会(議員提案議案・補正予算) 高橋(英)委員長

12月議会の提出議案は町側提出14件、議会提出2件で、陳情3件は机上配布となる。町営住宅の一部改正は町側申出により委員会付託とする。議会費の12月補正提出と24年度当初予算の説明があり全協でも意見をもらうことにする。議会提出の2条例の改正(期末手当、政務調査費)の説明があり了承された。

○10月31日 総務建設常任委員会 土橋委員長

(観光行政全般の現状報告と今後の方針・公共下水道及び雨水計画の町の取組み・子育て支援総合センター周辺道路問題)

・観光推進室から今まで報告がなかったので、ここで報告を受けた。

11月10・11日 総務建設常任委員会行政視察 土橋委員長

岩手県釜石市(震災復興計画・防災教育)・遠野市議会(震災後方支援)

・大震災から8カ月たったが、まだまだ片づいていない状態。まさに「百聞は一見にしかず」のとおり、大変勉強になった。町の今後にも生かしたい。

○11月7日 福祉文教常任委員会協議会 竹内委員長

(大磯町立ふれあい会館条例の一部を改正する条例・大磯町健康増進計画の策定)

② 10月26日 県町村議会議長会役員会、県町村情報システム共同事業組合議会 渡辺議長

第30次地方制度調査会が始まった、資料参照いただきたい。

③ 11月7日 町長等と議長・副議長の意見交換会 渡辺議長

4点話した。①決算特別委員会の質問形式を1問1答で行うこと。2問でも可だが。②特別委員会では、継続事業や毎回資料を求めているものは事前に用意配布願いたい。③反問権のことは、確認権の運用である旨伝え了解される。④議会資料配布後の個人電話連絡は控えていただきたい旨を伝えた。

④ 10月28日 湘南地区監査委員連合会研修会 } 三澤委員

- 11月11日 県町村監査委員協議会研修会
4町で研修会を二宮町で行った。これからの監査の重要性が高まっている。講師は諸坂先生であった。
- ⑤ 10月24日 農業委員会総会 農業委員
- ⑥ 10月24・25日 町村議会広報研修会 二宮議員・片野議員・高橋(富)議員・関議員
102団体、432人の参加があった。議会だよりのクリニックもあり、大変有意義な研修であった。
- ⑦ 11月1日～3日 沖縄県総合精神保健福祉センター（うつ病デイケア・認知行動療法）
北部生涯学習推進センター（生涯学習推進事業）
マルチメディア館（金融情報特区・企業誘致政策） 奥津議員・二宮議員
- ⑧ 11月1・2日 市町村議会議員特別セミナー（地方議会の役割を考える等）
片野議員
- ⑨ 行政視察について
10月20日 北海道松前町議会視察来庁
（議会運営、議会広報の編集・発行） 渡辺議長
11月8日 福島県会津坂下町議会視察来庁（子育て支援） 渡辺議長
- ⑩ その他
- ・議会だよりの一般質問掲載ページを1ページ2人としたい。写真等も活用したい。
 - ・問題提起であるが、裁判で係争中の件に係る陳情・請願の取扱いは整理しないといけないと思う。正副議長、事務局を含め検討いただきたい。
- (3) 協議事項
- ① 平成24年度議会費予算について
意. 議会改革を標榜しているので、新年度でも予算に組み入れたらどうか。
- ・進行管理とも絡む。一般会議も基準を設けないといけない。意見交換会、通年議会など、どう進めるか意見交換したい。
- ② 議会基本条例の進行管理について（議長から資料提供あり。）
（通年議会・議会報告会・一般会議など）
- ・条例制定まで全員で行ってきた。特に議運で集中して行い、全協で報告、意見を聞いた。報告会も議会ごとに各地区で行うべきではないか。私見だが、委員会のテレビ放映も行ってはどうか。
 - ・今はまだ骨格が出来ているだけである。幹はあるが枝葉の報告会とか、進行管理が必要である。議運で行わなければいけない題材と認識している。時間をかけて計画づくりから議論を重ねるべきである。

- ・当初予算に反映させることはどうか。まず、課題として整理して進めるべきである。
- ・ここでしっかり詰めないといけないので、時間はかかると思う。予算は補正でも対応できる。特別委員会を設けるより、ベテラン議員がいる議運で議論するのがよいのではないか。
- ・議会改革は自分達も勉強しながら進めるべきである。
- ・意気込みを見せるためにも特別委員会も一つの方法である。
- ・新人議員は分からないこともあると思うので、大学の先生等呼び、勉強してはどうか。
- ・11月23日に法政大学の広瀬教授の講演を聴きにいく。そのような方に話をしてもらうことも良いと思う。
議会改革を進めることは議員全員の了解を得たので、どのように進めるかは次の議運に諮り、決めていくこととしたい。

③ その他

平成23年度12月補正予算（議会費）について説明。

議員の期末手当及び政務調査費の条例改正に伴う減額補正である。

(4) 事務局からの報告

① 町村議会議員研修会について 11月25日(金)

午後1時15分～ 箱根町立仙石原公民館

当日役場10時20分集合、全員参加で昼食の申込みを行う。

② 大磯町議員研修会「地震と大磯の地盤」 1月19日(木)

午後1時30分～ 議員控室

意・資料があれば議会で購入したらどうか。

③ その他